

「何處へ行くんだ」

「へい私は大工で御座んす、ちよつとそこまで」

「嘘を吐け、擲り殺すぞ」

火箸を振りかざすと其の男は一目散に逃げて歸つた。

俺はドシ／＼歩るいた。

人間の住居が所々に見える。針金の網をして雞を飼つてゐる所もあつた。

或家では犬が、嚙み付きそうな權幕で吠え付いて來たので、俺は縛つといてくれと交渉した。

「御殿場までの道は此の道か」

「御殿場までは三里か」

通行人はあまりないのだ。

半里も歩るいたと思ふ頃、道は獨りでに細くなつて、山の根に沿ふて四五軒の家が左手にある。

「御殿場へ行くのは此の道か」

美しい池があつた。